

# 名大の時間

## これまでの大学生活を振り返って

4年生になろうとしている。私は、高校卒業まで地元の旭川で過ごし、そのまま旭川で進学を考えていたが、恩師の担任と顧問の「行くなら名

寄だ、絶対できる、大丈夫だ」という熱い激励から、この名寄市立大学に入学した。

めてがあり大きな不安がのしかかった。しかし、現在は仲の良い友人、バイト先、献身的な先生方に支えられ、とても充実し、日々成長できていると感じることができると感じることができている。

今回は、これまでの大学生活を振り返って思うことについて書いていこうと思う。私自身、大学生活を振り返って思うことは「取って大変な状況に身を置いてみることは大切」だということだ。歳をとるごとに自分自身も周囲を見ても大変なこと、面倒くさいことは嫌だし、出来るか分からない不安からできるだけ大変なことは避けるようになっていくように感じる。

でも思ったことは積極的に行ってきた。実際に重要な役割を担ったり、他大学交流のメンバーになったりなど取ってやろうとしなければ経験できないようなことを多く経験することができた。

これによって統率力、協調性、自分のキャパシティ、コミュニケーション力を向上させることができた。振り返ると、大変なことを避けるメリットよりも、行うメリットの方が大きいことが分かる。このような機会を与えてくれている人達には感謝しかない。

大学生活3年目の終盤に差し掛かり、いよいよ最終学年の

大学には、同じ高校からの同級生も先輩もいないこと、初めての人暮らし、バイトなど多くの初

今回は、これまでの大学生活を振り返って思うことについて書いていこうと思う。私自身、大学生活を振り返って思うことは「取って大変な状況に身を置いてみることは大切」だということだ。歳をとるごとに自分自身も周囲を見ても大変なこと、面倒くさいことは嫌だし、出来るか分からない不安からできるだけ大変なことは避けるようになっていくように感じる。

しかし、私はこの大学生活で多少大変な状況になっても、成長できそうと少し

ここまでの3年間、は長いようで、短く、濃かった。残り1年という大学生活は瞬く間に過ぎていくだろう。この重要な時

間を無駄にせず、支えてくれている周囲の人たちに感謝をしつつ、今後人間としても看護師としても素晴らしい人になっていけるように日々学んでいきたい。

